

● 運転に不安を感じている

● 運転免許センター 安全運転支援室

認知症、身体・精神障害など、運転に支障のある方の相談窓口です。

所在地 いの町枝川200番地

電話番号 088-893-1221

● いの町が自宅での生活を支援する制度を知りたい

緊急通報システム (安心ネットワーク)	緊急時にボタンを押すと安心センターに通報され、あらかじめ登録している近所の協力員等(2名以上必要)に連絡がされます。申請後、訪問等による調査があります。緊急通報装置の機器利用料と通話料が必要になります。	ほけん福祉課 高齢福祉係 ☎088-893-3810
徘徊高齢者等位置探索 システム端末機貸与・ いの町徘徊高齢者等 家族支援事業	徘徊が気になり始めた方を対象に機器を貸し出し・または貸与し、利用者の位置情報があらかじめ登録したアドレスへ送信されるサービスです。 ※ペースメーカー装置者は利用できません。	
老人福祉電話設置	低所得の独居高齢者を対象に福祉電話を貸し出し、関係機関・地域住民の協力を得て安否の確認を行います。申請後、訪問等による調査があります。通話料が自己負担となります。	
在宅高齢者等 紙オムツチケット交付事業	要介護2以上の認定を受け、在宅生活を3か月以上継続し、常時紙オムツを使用している市町村民税非課税の方を対象に、年間上限3万円分の紙オムツチケットを交付します。	
家族介護支援金事業	要介護2以上の認定を受けた方の在宅介護を3か月以上継続しているいの町に住所を有する介護者へ、月額1万円の支援金を支給します。	
高齢者等ごみ出し支援事業 (ふれあい収集)	家庭ごみを集積所まで持ち出すことが困難で、対象となる要件を満たす世帯に対して、町が個別に収集を行います。申請後、訪問による審査があります。	環境課 ☎088-893-1160
デマンド式乗合タクシー	吾北地区、中追地区、蔭・横敷地区～最寄りの県交北部交通バス停までの区間を運行しています。一乗車300円・小児半額(事前予約必要)。	総合政策課 ☎088-893-1112 吾北地区：吾北ハイヤー ^{☎088-868-2517} 中追地区：大原ハイヤー ^{☎088-897-0107} 蔭・横敷地区：明神ハイヤー ^{☎088-892-0039}
定時制デマンド式 乗合タクシー	小野地区、毛田地区、成山地区～すこやかセンター伊野の区間を運行しています。一乗車300円(成山地区は500円)・小児半額(事前予約必要)。	総合政策課 ☎088-893-1112 明神ハイヤー ^{☎088-892-0039}
定時制デマンド式 乗合バス	寺川～長沢～大森の区間を運行しています。寺川～長沢は昼の便、土日の便。長沢～大森は全便。一乗車300円・小児半額(事前予約必要)。	本川住民福祉課 ☎088-869-2112
一般町営バス (寺川～長沢)	寺川～長沢の区間を朝、夕運行しています。一乗車300円・小児半額。	本川住民福祉課 ☎088-869-2112
一般町営バス (伊野循環線)	すこやかセンター伊野を起点に、波川まわり、池ノ内・天王まわりで一日6便運行しています。一乗車200円・小児100円・障害者手帳をお持ちの方は半額。	総合政策課 ☎088-893-1112 明神ハイヤー ^{☎088-892-0039}
過疎地有償運送 (本川地区のみ・ 会員登録必要)	登録運転手(一般住民)が自家用車を使う運送サービスです。6km未満500円、6km以上は1kmあたり100円。 年会費1,000円、その他に待ち時間等で別途料金必要。 ※発着地のいずれかが本川地区。	いの町 社会福祉協議会 本川支所 ☎088-869-2071

● 介護保険サービスをうまく利用しましょう

認知症の方を一人で支える事は困難です。家族や時には近所の方などに協力してもらい、介護保険も上手に利用しましょう。介護保険サービスを利用するには、介護認定を受ける必要があります。

いの町地域包括支援センターもしくは、いの町吾北総合支所住民福祉課までお問い合わせください。

(p.11)

いの町版認知症ケアパス

認知症 ガイドブック



監修：アルツクリニック東京
院長／順天堂大学 名誉教授／
医学博士 新井 平伊

認知症ガイドブックが伝えたいこと

1. 認知症に関する正しい知識を知ってもらいたい。
2. 認知症になっても、住み慣れた地域でいきいきと生活してもらいたい。
3. 認知症予防・進行を遅らせる事につながる生活習慣を知ってもらいたい。
4. いの町で相談できる窓口や利用できる制度を知ってもらいたい。

いの町

はじめに

認知症は誰がなってもおかしくない身近な病気です。
いの町では、認知症にならないためのまちづくりではなく、
認知症になっても、住み慣れた地域で活躍し、
いきいきと暮らせるまちづくりを目指しています。
認知症は記憶に障害のできる病気ですが、
体調を整える生活習慣と周囲の適切な関わりによって
病気の進行を遅らせ、症状を安定させることができます。

1

認知症とはどんな病気？

認知症とは、記憶障害やさまざまな状況に対する判断が不適切になるなど、生活する上での支障が少しずつ増えていく脳の病気です。

認知症と加齢によるもの忘れの違い

「昨日の夕飯の内容が思い出せない」「何時に約束したか忘れた」、こんなことがあると「認知症では？」と心配になりそうですが、「昨日はコロッケを食べた」「5時の約束だよ」と言われば、ああそうだったと思い出せるのは、加齢によるもの忘れです。しかし認知症の場合は、夕飯を食べたこと・約束をしたこと自体を忘れてします。

加齢によるもの忘れ

体験の「一部」を忘れる

「何を食べたか」思い出せない

「約束をうっかり」忘れてしまった

目の前の「人の名前」が思い出せない

物を置いた場所を「しばしば」思い出せない

「ヒントがある」と思い出せる

認知症によるもの忘れ

体験の「全部」を忘れる

「食べたこと自体」を忘れる

「約束したこと自体」を忘れる

目の前の人が「誰なのか」分からなくなる

置き忘れ、紛失が「頻繁」になる

「ヒントがあっても」思い出せない

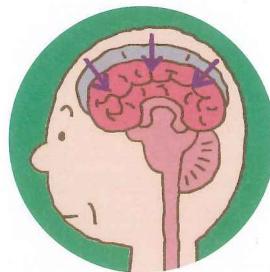
※これらはあくまで目安です。当てはまらない人もいます。

認知症の種類と特徴

認知症は原因となる病気によって、さまざまな特徴があります。

一番多い認知症

アルツハイマー型認知症



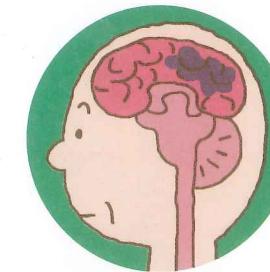
女性に多く、進行は緩やか。記憶障害が著しく、特に最近の記憶(短期記憶)が不得意になります。うつ状態がみられることがあります。

特徴的な症状の例

- 同じ質問を何度も聞く
- 物事の段取(食事の準備など)が悪くなる
- 日にちが分からなくなる
- 約束をすっぽかす など

脳梗塞、脳出血などが引き金

血管性認知症



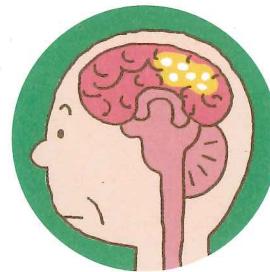
男性に多く、脳の血管障害で脳細胞が死滅することで発症します。脳血管障害のリスクとなる高血圧や糖尿病などの治療・改善が予防につながります。

特徴的な症状の例

- 意欲が低下する
- もの忘れがあるわりにはしっかりしている(まだら認知症)
- 手足の麻痺がある など

幻視が起こるのが特徴

レビー小体型認知症



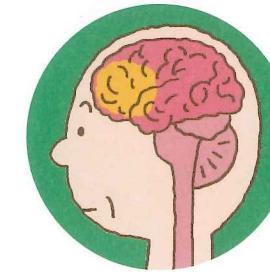
初期のころはもの忘れより、うつ状態、失神、震えといった症状が出たり、幻視(目の前に無いはずの物が見える)を認めたりすることがあります。

特徴的な症状の例

- 子どもや虫が見えると言う
- 夢を見て反応し大声を出す
- もの忘れは軽い など

性格や行動上の変化が主な症状

前頭側頭型認知症(ピック病)



もの忘れの症状は軽く、意欲や理性、感情をコントロールすることが難しくなります。万引きや無銭飲食などで周囲を困惑させることも少なくありません。

特徴的な症状の例

- 同じ時間に同じ行動をとる
- 同じ食品を際限なく食べる
- 周囲を顧みず自己本位な行動が目立つ など

若年性認知症

まだ若いということで、診断までに時間がかかります。うつ病などの精神疾患と診断されていることも少なくありません。

65歳未満で
発症する認知症の
総称です

こんな
症状に注意

- 書類の整理が難しくなった
- 家事に時間がかかる
- 打ち合わせの約束をしたことを忘れる など

2

いの町の認知症ケアパス



認知症の段階

元気

認知症の疑い(軽度認知障害)

自立

※これらは認知症(軽度)が
疑われる状態です。

会話など

食事・調理

着替え

お金の管理 買い物

服 薬

外 出

問題なく一人で行える。



物忘れが増えていることが気になる。

味付けが変わった(食事が必要以上に甘かったりしおぱかったりする)。*

見守りがあれば一人で行える。*

見守りがあれば一人で行える。*

時々、薬の飲み忘れがある。

約束した日時や場所を忘れたり間違えるようになった。

認知症(軽度)

誰かの見守りがあれば
日常生活はほぼ自立

時間や日にちが分からなくなる。
同じことを何度も聞くようになる。

必要以上に同じ食材を買い込んでしまう。
同じ料理を頻繁に作るようになる。

季節感に応じた服を選べなくなる。

小銭があるのに、お札で支払うことが多くなる。
通帳などの保管場所が分からなくなる。

薬の飲み忘れが目立つ。

車の運転が心配である。

以前に比べて、外出するのがおっくうになり、家に閉じこもりがちになる。

認知症(中等度)

日常生活を送るには
支援・介護が必要

物忘れの自覚がない。

ガスの消し忘れが目立つ。

一人で着替えができなくなる(肌着を上に着てしまうなど)。

財布などの大事なものが盗まれたと
人を疑うことが増える。

一人では薬の管理ができなくなる。

自分がどの場所にいるのか分からなくなる。

認知症(重度)

常に専門医療や
介護が必要

コミュニケーションをとるのが難しくなるが、
感覚(目・耳・鼻など)の機能は残っている。

食べ物ではないものを口に入れる。

本人の様子

家族の心得

元気な体を維持したい
人と交流したい
(p.7)

病院について(p.10)

生活支援について
(p.11~12)

介護について

住まいについて

- 一般介護予防事業(るんるん若ガエル体操グループ・認知症予防料理教室)
- あつたかふれあいセンター
- 公民館及び集会所活動・サークル活動
- 生きがい活動支援通所事業
- シルバー人材センター

交通手段: ●デマンド式乗合タクシー ●町営バス ●過疎地有償運送

- ミニデイサービス・サロン
- 老人クラブ
- 介護予防・生活支援サービス事業

いの町では認知症の人でも以前と変わらず集いに参加
できるように、各団体向けに認知症の人との関わり方
の講義を紙芝居方式で実施しています。



- かかりつけ医
- 認知症センター養成講座
- 老人福祉電話設置
- 成年後見制度
- 介護タクシー

- かかりつけ薬局
- 認知症疾患医療センター

- こうちオレンジドクター

- 緊急通報システム(安心ネットワーク)
- 民生委員・児童委員
- ふれあい収集
- 老人クラブが行う友愛活動
- 認知症カフェ
- 在宅高齢者等紙オムツチケット交付事業
- 要配慮者・避難行動要支援者名簿への登録
- 訪問看護
- 認知症カーネーション
- 通所リハビリテーション(デイケア)
- 訪問介護
- 短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)
- グループホーム
- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- 通所介護(デイサービス)
- 小規模多機能型居宅介護
- 居宅療養管理指導
- 訪問看護
- 訪問介護
- 短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)
- 特別養護老人ホーム
- 訪問入浴介護

詳しい内容については「地域包括支援センター(p.11)」にお問い合わせください。
「みんなのあんしん 介護保険 わかりやすい利用の手引き」も併せてご参考にしてください。

●シルバーハウス ●生活支援ハウス朝霧荘

●軽費老人ホーム(ケアハウス)

●高齢者向け優良賃貸住宅・

●養護老人ホーム

●住宅改造支援事業補助金

サービス付き高齢者向け住宅

3

認知症を予防する

認知症のリスクを高める習慣は「あまり食べない」「あまり体を動かさない」「あまり外に出ない」などです。さあ、今日から、予防のための3原則を実践しましょう。

原則①よく食べる

いただきます!!

認知症予防に特別な食事は必要ありません。バランスよく、規則正しくが肝心です。年をとったら粗食が一番!と思っている人がいるかもしれません、大きな誤解。栄養状態の低下は老化のスピードを加速させ、認知機能低下のリスクを高めます。

たんぱく質

プラス
+

エネルギー

は特に大事な栄養素です

からだ(血や筋肉や骨)をつくる食品

たんぱく質

魚・肉・卵・大豆製品、
牛乳・乳製品

からだを動かすエネルギーとなる食品

糖質

ごはん・パン・麺類・いも・砂糖

脂質

肉類・魚類の脂・植物油・

バター・マヨネーズなど



バランス良く食べて脳を活発に!

★副菜(野菜・きのこ・いも・海藻)★

からだの調子を整える、
ビタミン・食物繊維が豊富。
毎食1~2品

★主菜(肉・魚・卵・大豆料理)★

毎食1~2品

★主食(ごはん・パン・麺類)★

毎食1品

! 糖尿病などの
生活習慣病が
ある場合は、主治医に
相談してください。

原則②よく体を動かす

体を動かすことは、血流を良くして脳の働きを活性化する効果があります。

また、日常的に行っている料理や掃除などの家事は、認知症予防に効果があり活動量も確保できて一石二鳥です。



まず歩こう!!

すぐにできる有酸素運動の代表といえばウォーキング。歩幅を広げて姿勢よく歩くことを心掛けます。併せて、筋肉を使うトレーニングを習慣にすると転倒リスクも遠ざけられます。

1日20分程の有酸素運動を意識してみましょう!!
早歩き、階段上り下り、農作業
床掃除、庭掃除、洗車、散歩、体操など

原則③よく外に出る

社会に参加しよう!!

社会との関わりをもつことが、認知症の発症リスクを下げることにもつながります。

るんるん若ガエル体操

高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を送るために、介護予防のための健康づくりが必要です。いの町では、独自の体操「るんるん若ガエル体操」を各地域で実施しています。このるんるん若ガエル体操は町内約70か所で実施しています。ご近所の仲間と一緒にすることで継続して活動ができます。

各地域の体操の詳しい活動内容については、地域包括支援センター(p.11)へお問い合わせください。



ミニデイサービス・サロン

地域のお世話役の支援により、物作りや話をしたり、ゲームをしたりするなど集会所で行われる交流の場です。※町内でミニデイサービス54か所、サロンが3か所開催されています。開催回数は地区によって異なっています。

お問い合わせ

ミニデイ:いの町役場 ほけん福祉課 (☎088-893-3810)

サロン:いの町社会福祉協議会 (☎088-892-0515)

よく
食べる

認知症予防には、笑うこと・
話すことが大切と言われて
います。友人や知人と交流
し、たくさん笑顔になりま
しょう!

認知症
予防よく
運動するよく
外に出る

老人クラブ

おおむね60歳以上の高齢者が地域ごとに多様な自主活動を基盤として、生きがいや健康づくりを目的として活動しています。

お問い合わせ

いの町老人クラブ連合会事務局

(いの町社会福祉協議会内 ☎088-892-0515)

シルバー人材センター

高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とした団体です。

お問い合わせ

公益社団法人 いの町シルバー人材センター

(☎088-893-2322)

公民館及び集会所活動・サークル活動

サークル活動や交流、イベント、生きがいの場を通じ、地域の高齢者が元気に過ごせるようにさまざまな活動を行います。

お問い合わせ

伊野公民館 (☎088-893-2012)

あったかふれあいセンター

誰もが気軽に集える場、支え合いの場をつくることを目的にした事業などをています。お話しサロンや男性の集いなどさまざまな「集い」に関する活動や、独居高齢者への訪問、地域のニーズ調査など地域に出向き、相談内容によって専門機関に「つなぐ」支援も行っています。拠点は伊野地区に1か所(すこやかセンター伊野内)、吾北地区に1か所(吾北山村開発センター内)あります。

お問い合わせ

いの町あったかふれあいセンター (☎088-893-5920)
吾北あったかふれあいセンター「こころ」 (☎088-867-2655)

生きがい活動支援通所事業

何らかの理由で地元の集いの場に参加できず閉じこもりがちになっている高齢者や障害者など、一定の要件に該当する方を対象に、地域のボランティアを中心に自主的なグループ活動ができるよう支援しています。(現在、生きがい活動支援通所事業は本川のみ開催されている事業となります)

お問い合わせ

いの町社会福祉協議会 本川支所 (☎088-869-2071)

4

認知症の人への理解を深める

認知症という病気は一度にすべての能力を失うわけではありません。少しづつ物事が分からなくなったり、これまでできていた事ができなくなったりします。その変化に、本人が一番驚き、混乱しています。

認知症の進行をゆるやかにするためには、認知症を患っている本人が「安心」できるような声掛けや関わり方が大切です。よくある症状への対応について知っておきましょう。

ケース①

日時の感覚の混乱

「今日は何日？」
がわからなくなる

答えられなくても
問題視しないこと

日々は健常者でも分からぬことがあるくらいなので、ご家族が「今日は何日?」などの質問をして不安を増強しないようにしましょう。大きな日めくりカレンダーをかけておくことがよいかもしれません。



ケース③

季節が分からず 季節に合わない服装をする

一緒に選ぶ、
褒めて勧める

みっともない、汚い、などとたしなめることはせず、適切な衣服と一緒に選んでみてください。「お似合いですよ」と勧めると素直に着替えてくれることも。体調面で不都合がなければおおらかに目をつぶることも大切です。



病院に行きたがらないときには

本人も納得して受診することがベストですが、ためらいがある場合や、自覚がない場合には、表現を工夫してみましょう。**まずは受診につなげることが大切です。病院に予約する際には事情を説明して、自宅での気になる様子を詳しく伝え、力を貸してもらいましょう。**

ケース②

全体の記憶の障害

「ごはんまだ？」
が多くなる

話題を変えて
納得してもらう

食べた、という事実を理解してもらうのではなく、本人がいかに納得するかがポイントです。「もう食べたでしょ?」と思っていても、「もうすぐできるから待っていてね」「できるまでこれ(お茶やお菓子など)を食べて(飲んで)いてね」と話題を変えてみましょう。



ケース④

家族を忘れる 「あなた誰？」 に驚かされる

対応のポイント

なりきって振る舞う

家族の名前を忘れたり、別の人と間違えるなど、目の前の人気が自分とどういう関係なのか分からなくなります。「あなたの娘なのに」と言い聞かせず、別人を演じてしまいましょう。



こんなふうに声をかけてみよう



私の健康診断に 付き添って

家族に頼られたら
断れないかも

健康チェックに
行きましょう

気軽な気持ちで
行けるように

ケース⑤

物盗られ妄想

「財布を盗られた！」
など、お金がないと騒ぐ

対応のポイント

同じ感情を共有して
味方になり、見つけ出せるように誘導

盗まれたと思い込んでいます。「どこかに置き忘れたんでしょ」と反論せず「それは困りましたね、一緒に探しましょう」と共感する。本人以外の人が財布を見つけた場合、ここにありましたとは言わず、「このあたりを探してみましょうか」と言い、本人に見つけてもらうことが大事です。



ケース⑥

家に帰りたい願望

夕方になると外に出ようとする

対応のポイント

気持ちを認め、
落ち着かせてから合わせて行動する

「ここが家ですよ」と引き止めると不安や不信感が募ります。「そこまで送りますよ」と一緒に散歩したり、「お茶だけでも飲んでいいください」と気分を変えて落ち着けます。



ケース⑦

人柄が攻撃的に変化

「バカにしてるのか！」
など、すぐに怒り出す

対応のポイント

できる限り感情をいたわりつつ、原因を探る

気持ちを表現できる言葉が出てこない、相手の言葉が理解できないことなどから、もどかしい気持ちを抱えています。日頃から本人を尊重する言葉をかけるとともに、投げられて危険なもの、困るものは目の届くところに置かず、ティッシュの箱などを置いておくなどの工夫をしましょう。



ケース⑧

排泄トラブル

トイレまで間に
合わなくなる
ことが増える

対応のポイント

排泄のリズムを作ってトイレに誘導

尿や便の失禁や弄便(便を弄ぶ行為)は決してわざとしていることではありません。トイレの場所が分からなくなったり、便意や尿意を感じなくなっていたり、服の脱ぎ方が分からなくなっているなどの原因が考えられます。**本人は失敗によってすでに傷付いています。責めたりせず、定期的にトイレに誘導しましょう。**

ケース⑨

幻覚におびえる

「そこに誰が立っている」
など、現実にないものを見たと訴える

対応のポイント

話を合わせて恐怖感を取り除く

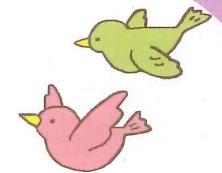
虫がいる、泥棒が入ってきたなどと幻覚におびえたり混乱する場合は、「虫はないよ」「誰もいないよ」と否定せずに「もう出て行きましたよ」と話を合わせ、安心させてあげます。音が聴こえたり(幻聴)、景色が見える場合もありますが、本人が楽しそうならそっと見守ってもいいでしょう。



認知症の症状を落ち着かせるためには、「安心して生活できる環境」を作ることがとても大切です。間違いや失敗を指摘する関わりではなく、できることを見つけ、誇りと自信を取り戻す関わりを心がけましょう。認知症の方を一人で支えることは困難です。困った時は、周囲に相談したり、公的なサービスもうまく利用しましょう。(p.10~11)

5

早期発見・早期診断・ 早期治療が大切です



なぜ早期に発見・診断・治療が必要なの？

治療で回復する可能性がある！？

物忘れなどの症状が出る認知症でも、「治る認知症（正常圧水頭症・脳腫瘍・慢性硬膜下血腫・甲状腺機能低下症・うつ病・脱水・栄養不足等）」の可能性があります。その場合は、早期に発見し、治療することで、良くなことがあります。

認知症の進行を遅らせることができる！

適切な治療や関わりにより、症状を改善したり、進行を遅らせることができるとされています。早期に発見して適切な治療や関わりをすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができます。

事前準備ができる！

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。



どこの病院に相談したらいいの？



① 身近なかかりつけ医、かかりつけ薬局への相談

② こうちオレンジドクター（認知症に関する研修を修了し、県に登録した医師）

医療機関名（いの町内）	医師名	所在地	電話番号
石川記念病院	福本 光孝	いの町波川 77	088-892-0641
いの町立国民健康保険仁淀病院	松浦 喜美夫	いの町 1369	088-893-1551
さくら病院	岡本 和夫	いの町鹿敷 162	088-893-5111
田村カルディオクリニック	田村 章	いの町波川 563	088-893-5712
西村整形外科	西村 孔佑	いの町 256	088-893-2455
高岡内科	高岡 誠人	いの町新町 86	088-892-0296
森木病院	中平 誠一郎	いの町 3674	088-893-0014
山内内科	大川内 弘子	いの町枝川 247-11	088-893-3111

③ 認知症疾患医療センター（認知症に関する専門医療相談として、県より委託を受けた病院）

医療機関名	所在地	電話番号
高知鏡川病院	高知市城山町 270	088-833-5012
一陽病院	須崎市赤崎町 9-5	0889-42-1803
高知県立あき総合病院	安芸市宝永町 3 の 33	0887-35-1536
渡川病院	四万十市具同 2278-1	0880-37-2220
高知大学医学部付属病院	南国市岡豊町小蓮 185-1	088-866-5811

※他にも認知症にくわしい医療機関があります。

● 高齢者に関する色々な相談をしたい

● いの町地域包括支援センター（伊野地区にお住まいの方）

所在地 いの町1400番地（すこやかセンター伊野）

電話番号 088-893-0231

高齢者の方に関する
身近な相談窓口です。
わからないこと、不安
に思うことがあればま
ずはご相談ください。

● 吾北総合支所 住民福祉課（吾北・本川地区にお住まいの方）

所在地 いの町上ハ川甲1934番地

電話番号 088-867-2300



● 認知症に関する相談をしたい

● 認知症コールセンター

電話番号 088-821-2818

● 若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症のご本人やご家族だけでなく、勤務先の企業者・市町村等からの相談に応じています。

電話番号 080-2986-8505（高知大学医学部付属病院 コーディネーター直通）

● 認知症初期集中支援チーム

地域包括支援センターにチーム員を配属し、専門職と専門医との連携により早期に専門医療機関の受診・治療につなげ、適切な医療や介護が受けられるように支援します。

● 認知症について知りたい

● 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解、見守り、接する事ができる人材の育成を、地域や学校、職場の開催希望により実施しています。

電話番号 088-893-0231（いの町地域包括支援センター）

● 認知症カフェ

認知症の方、ご家族の方、地域の方等、どなたでも情報交換、交流、相談のできる場です。

名称（施設名）	所在地	電話番号
さくらカフェ (小規模多機能型居宅介護事業所 新別の里)	いの町小川新別 340-1	088-868-2333
オレンジデイ (あつたかふれあいセンター)	いの町 1400	088-893-5920
かふえ青空 (小規模多機能型居宅介護青空)	いの町 3611-5	088-821-7554
純喫茶 壽幸園 (小規模多機能型居宅介護事業所 壽幸園)	いの町天王南 6 丁目 1-1	088-850-1330
にじいろカフェ楽楽 (ケアハウスいの)	いの町波川 560-2	088-892-4976
まごころ (石川記念病院)	いの町波川 77	088-892-0641

● 権利擁護について相談したい

● 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や、日常的な金銭管理等に不安がある方の支援を実施しています。詳しくは、いの町社会福祉協議会（☎088-892-0515）へお問い合わせください。

● 成年後見制度

認知症、知的・精神障害などの理由により判断能力が不十分となった方が、預貯金等の管理や契約で不利益を招かないように、法的に支援する制度です。